

飛躍する東北大学の様々な活動

新たな「挑戦」をし続ける東北大学では、学内外で今年も活発な活動が行われました(2013.4~2014.3)

2013.04.25 東北地区7国立大学法人が災害時連携協定を締結

東北地区の国立大学法人である本学と弘前大学、岩手大学、秋田大学、山形大学、宮城教育大学、福島大学の7大学は、4月25日に「大規模災害等発生時における東北地区国立大学法人間の連携・協力に関する協定」を締結しました。調印式には、各大学の学長、総長が出席。東日本大震災におけるの事例などを踏まえて、災害発生時の対応への相互協力を確認し合いました。



2013.06.05 環境科学研究科「エコラボ」が木の建築賞 NCN木骨構造賞を受賞

本学環境科学研究科の校舎「エコラボ」が、第8回「木の建築賞(NPO 木の建築フォーラム)」において、「NCN木骨構造賞」を受賞しました。「木の建築賞」とは、地域の文化や風土を表現し木の建築文化、建築技術などの発展に寄与する建物、活動に与えられる賞です。「エコラボ」は、本学農学部附属フィールドセンター産の木材をふんだんに使った温かみのある建物で、自然エネルギーを活かす研究成果が応用されています。



2013.05.10 AEARU(東アジア研究型大学協会)第32回理事会を開催

5月10日・11日、AEARU(The Association of East Asian Research Universities: 東アジア研究型大学協会)第32回理事会が東北大学で開催されました。国立清華大学(台湾)、大阪大学、南京大学、北京大学、香港科技大学、ソウル大学校などが出席。新たな共同研究・教育の在り方などに関して活発な議論がなされました。理事会修了後は、キャンパスツアーやさくらホールで第2回AEARU講演会、さらに女川町などの被災地巡検が行われました。



2013.06.14 東北大学の2名の研究者がロシア政府メガプロジェクトリーダーに

本学の川添良幸名誉教授(未来科学技術共同研究センター・教育研究支援者)と理学研究科・大谷栄治教授が、「ロシア政府メガプロジェクトリーダー」に選出されました。これは、科学技術の研究教育を担う優れた人材を世界から選び、基礎研究とロシアの若手教育を推進するもの。本制度は2年前に始まり、これまで選ばれた日本人はノーベル化学賞受賞の下村脩先生だけでしたが、今回は全体42名中日本人が本学2名を含む3名でした。



2013.07.26 第52回七大戦で硬式庭球部男子・剣道部男子が優勝

7月6日に、第52回全国七大学総合体育大会の開会式が大阪大学会館講堂(豊中キャンパス)で行われ、通称・七大戦(7国立大学/北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学)が開幕。全43種目、約7500人もの学生が熱い戦いを繰り広げるこの大会は、9月下旬まで続きます。本学の健闘ぶりはめざましく、学友会硬式庭球部男子と剣道部男子が既に優勝を飾りました。



2013.07.30-07.31 東北大学オープンキャンパスを開催しました

本学に入学を希望している高校生をはじめ、「大学ってどんなところ?」と興味を持った方々が来場し、2日間で延べ61,600人の方が参加し、過去最高の参加者数となりました。川内、青葉山、星陵、雨宮の4つのキャンパスで、学部、大学院などの紹介が行われました。また、新企画として、川内北キャンパスにおいて10の学部それぞれの講演やサークル活動の紹介が実施されました。



2013.08.08 女子学生入学100周年シンポジウムを開催

本学は1913年に日本の大学初の女子学生3名を受け入れ、今年100周年を迎えました。そこで、各種の記念事業を展開し、女子学生入学100周年記念シンポジウムを開催。「リケジョの100年から未来の女性リーダー育成に向けて」をテーマに、講演やパネルディスカッションを行いました。また、最初的女子学生の一人である黒田チカ氏に関する資料が氏の親族から寄贈されたことから、里見進総長より親族へ感謝状が贈呈されました。



2013.09.21 第52回七大戦で東北大学が総合優勝

第52回全国七大学総合体育大会において、本学が総合優勝を達成しました。本学学生がめざましく活躍し、スキー、柔道、硬式テニス・男子、剣道・男子、相撲、ソフトテニス・男子、同女子と続々と優勝。最終種目の卓球競技で女子が優勝したことから、0.5点差で暫定首位の京都大学を逆転し、総合優勝を成し遂げました。本学の総合優勝は、本学主管で開催された平成20年の第47回大会以来、通算10回目となります。



2013.10.01 スウェーデン・王立工科大学とリエゾンオフィス開所

スウェーデン・王立工科大学(KTH Royal Institute of Technology)のDr.Ramon A. Wyss副学長一行が本学に来訪され、本学内に設置する両大学リエゾンオフィスの開所式を行いました。式に先立ち、リエゾンオフィス設置場所である流体科学研究所の教員との意見交換会が行われ、KTHと東北大学の今後の学生・研究者の交流計画について協議がなされました。KTH内には昨年、既に合同リエゾンオフィスを開設しています。



2013.10.10 第4回日露学長会議がモスクワで開催

日露大学間の教育・研究交流を目的に、第4回日露学長会議がロシア学長連盟と日露学長会議実行委員会の共催でモスクワ国立大学において開催されました。会議には本学をはじめ日本から19大学、ロシアから20大学が参加しました。参加大学の合意により公式声明書が採択され、日露代表(日本側:東北大学・里見進総長、ロシア側:モスクワ国立大学・ヴィクトル=A=サドーヴニチ学長)間で署名が取り交わされました。



2013. 10.14 全国大学対抗麻雀大会で東北大学が優勝

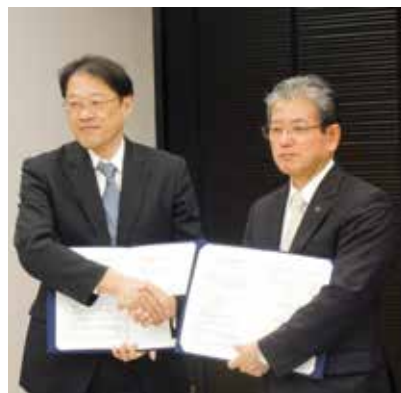
第18回青雀旗争奪全国大学対抗麻雀選手権大会において、東北大学チームが優秀な成績をおさめて、優勝の栄誉に輝きました。この大会は、大阪市のクラブ・天山閣で開催されました。本学経済学部2年の木村柊太(しゅうた)さんと理学部2年の渡辺知隼(ちはや)さんの組が、チーム得点212.3点を獲得し、優勝しました。なお、木村さんは、個人得点においても1位となり、大会MVPを獲得しました。


2013. 11.18 ロシア日本語履修大学生グループが来訪

日露青年交流センター主催の「ロシア日本語履修大学生招聘プログラム」の一環として、11月18日から3日間の日程で、日本語を履修しているロシア人大学生50名が本学を訪問しました。グループに分かれて、日本語の授業を見学・体験しました。続いて本学の学生ボランティアが主導して、キャンパス巡りやサークル見学、松島での文化体験などの活動を行い、学生同士の交流を深めました。


2013. 12.18 本学と国土交通省東北地方整備局が協定

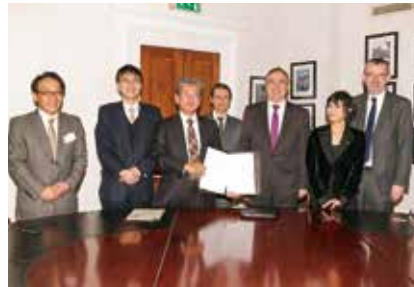
東日本大震災の経験から防災・減災、災害時対応体制の重要性が再認識されるとともに、近年、社会資本の維持管理の課題が明確になり、その対応が求められています。そして、これらを担う人材育成も重要となっています。本学と東北地方整備局は、防災機能の向上と地域社会の持続的発展に寄与することを目的に、より緊密で組織的な連携・協力の推進・強化を図ることに合意し、協定を締結しました。


2013. 10.15 小田和正氏が校友歌「緑の丘」を完成

小田和正氏が校友歌「緑の丘」を完成。本学工学部の卒業生である、小田和正さんの作詞・作曲による東北大学校友歌「緑の丘」が完成しました。これは、里見進総長が小田和正さんに相談した際に、東日本大震災を経験した本学の同窓生、在学生、教職員、そして本学を支えていただいている市民の皆様を元気づけたいとの思いで共感し、実現したものです。東北大学祭初日となる11月1日、小田さんの参加を得て「新しい校友歌をみんなで歌おう会」を開催しました。


2013. 11.21 ロンドン大学(UCL)と学術交流協定を締結

本学とロンドン大学(ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン(UCL))との大学間学術交流協定調印式を行いました。また、日英学術交流150周年記念事業の一環として、「東北大学デイ」を開催しました。UCLとの連携に関する里見進総長の基調発表をはじめ、材料科学と災害科学のワークショップのほか、UCL中央図書館において本学附属図書館が所蔵する夏目漱石文庫の展示会を行いました。


2013. 12.24 国際核融合エネルギー機構と学術交流協定を締結

本学は、日本の大学としては初めてITER国際核融合エネルギー機構(ITER International Fusion Energy Organization)と学術交流協定を締結しました。ITER計画は、平和を目的とした、人類初の核融合実験炉を実現しようとする超大型国際プロジェクトです。学術交流協定を締結することにより、共同研究はもとより、若手研究者を育成するための取り組みを共同で推進することとしています。


2013. 12.27 安倍首相が本学の研究プロジェクトを視察

安倍晋三首相は、東日本大震災からの復興状況を把握するため、宮城県を訪問しました。石巻市の共同かき処理場や塩竈市の災害公営住宅を視察後、多賀城市の「みやぎ復興パーク」へ移動。本学未来科学技術共同研究センター(NICHE)と地元企業が連携して進める、「次世代移動体システム研究プロジェクト」の研究施設を視察しました。ワイヤレス給電や自律走行などの研究にふれたほか、小型電気自動車に試乗されました。


2014. 02.15 学生会漕艇部が宮城県スポーツ賞を受賞

2月15日開催の平成25年度宮城県スポーツ合同表彰式において、学生会漕艇部の吉川由姫さん(文学部3年)、細田夏光さん(工学部2年)、堂谷結花さん(教育学部2年)の3名が第91回全日本選手権大会・ダブルスカル部門優秀などの成績を納め、宮城県スポーツ賞功績賞と宮城県体育協会表彰体育勲功章を受賞しました。また、3名は平成25年仙台市スポーツ賞の栄光賞も既に受賞しております。


2014. 03.09 東北大学災害復興新生研究機構シンポジウムを開催

本学は、東北大学災害復興新生研究機構シンポジウム『「東北復興・日本新生の先導」を目指して』を開催しました。シンポジウムにおいては、各プロジェクトが本年度の活動と成果報告を行いました。また、本学の相撲部監督を担う脚本家の内館牧子氏と仙台市長奥山恵美子氏が、今後の防災の取り組みについて講演されました。同時に、「復興アクションプロジェクト展示」も開催しました。


2014. 01.20 丸田薫教授がロシアの研究拠点リーダーに選出

本学流体科学研究所・附属未だエネルギー研究センターの丸田薫教授が、「ロシア政府メガプロジェクト」の研究拠点リーダーに選出されました。プロジェクトは2011年に始まり、世界各国の優れた人材をリーダーとする大型研究拠点をロシア国内に形成する目的で、3~5年間に年間百万ドル規模を交付する事業です。今回は、ロシア政府に503件の申請があり、そのうち42名(日本からは1件)が選ばれています。


2014. 03.06 小谷元子教授が内閣府・総合科学技術会議議員に就任

本学原子分子材料科学高等研究機構長・小谷元子教授は、内閣府・総合科学技術会議議員(非常勤議員)に任命されました。この会議は、内閣総理大臣、科学技術政策担当大臣のリーダーシップの下、各省を見渡す立場から、総合的・基本的な科学技術・イノベーション政策の企画立案や総合調整を行うことを目的とした、「重要政策に関する会議」の一つです。任期は2年です。


2014. 03.28 日本原子力研究開発機構との協定を締結

本学と独立行政法人 日本原子力研究開発機構は、研究協力のさらなる発展と人材交流の一層の促進を図り、福島第一原子力発電所事故の収束、終結に至るまでの支援に取り組むため、包括的な連携協力協定を締結しました。この協定によって、効率的な事業が遂行されるとともに、将来の原子力基礎基盤分野などで活躍できる優秀な人材の育成、確保も期待されます。

